Fujitsu Desktop ESPRIMO

取扱説明書

B5FL-1571-01

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

はじめに添付品を確認してください

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。
なお、記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

標準添付品

Gシリーズ共通

□ パソコン本体	□ マウス	□ キーボード（添付モデルのみ）
□ 取扱説明書（本書）	□ 保証書	

※ スタンダードモデルまたは光学ドライブ搭載モデル（バリューシリーズはスタンダードモデルのみ）

□ ACアダプタ	□ フット（ネジ×2付き）	□ ゴム足×4
□ 電源ケーブル	（ACアダプタ（65W）の場合）	
電源ケーブル（2P変換プラグ付）	（ACアダプタ（90W）の場合）	

※ 24時間モデル

□ 電源ケーブル（2P変換プラグ付）	□ フット（ネジ×2付き）	□ ゴム足×4

※ バリューシリーズのみ

□ DP−VGA変換ケーブル	□ リカバリ起動ディスク	□ リカバリデータディスク
□ ドライバーズディスク		

カスタムメイド添付品（選択された構成により添付されます）

□ USB黒マウス（光学式）	□ USB黒マウス（レーザー式）	□ 抗菌マウス（光学式）
□ USB黒キーボード	□ 抗菌キーボード	□ 保証拡張規定
□ 保証延長パック証書	□ 変換ケーブル	□ リカバリ起動ディスク
□ リカバリデータディスク	□ ドライバーズディスク	□ PowerDVD/Power2Go ディスク
□ VESA キット（L）	□ VESA キット（S）	

・マウス／キーボードを選択した場合
添付モデルでは、標準添付品のかわりにカスタムメイド添付品が添付されます。
・リカバリデータディスクを選択した場合
搭載OSに応じたディスクが添付されます。ディスクが複数枚添付される場合があります。
・Officeを選択した場合：プロダクトキーカード（紙）は添付されません。
インターネットに接続してOfficeアプリケーションを初めて起動した際に自動的にライセンス認証されます。

マニュアルについて

- **取扱説明書（本書）**
  パソコンの設置、接続、セットアップまでを説明しています。
- **リカバリガイド（本製品の内蔵ストレージに格納）**
  リカバリデータやドライバーのディスクを作成する方法とリカバリ方法を説明しています。次の手順でご覧になれます。
  ・「スタート」ボタン→画面右上の「すべてのアプリ」→「リカバリガイド」の順にクリックします。
- **製品ガイド（機種別編、共通編）**
  本製品の取り扱い、取り付け、仕様については「機種別編」、ソフトウェア、BIOS、トラブルシューティング、廃棄・リサイクルについては「共通編」に記載しています。
- **機能別マニュアル**
  カスタムメイドで選択した機能をはじめ、特定の機能について説明しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。
上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）。
https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.5）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内の内蔵ストレージに格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、「エクスプローラー」→「PC」内の「OEMEULA.html」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日頃からバックアップをとられることをお勧めします）。

セキュリティ機能のご利用について

セキュリティ機能は、完全な認証照合や、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。お客様がセキュリティ機能を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、操作ミスや、本製品に関する注意事項を守っていただけなかった結果、データなどが復旧できなくなったり、重要なデータが流出または損失したりしても、弊社は一切の責任を負いかねます。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- 製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において 1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。
- 1 日 8 時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリディスク、光学ドライブ、キーボード、マウス、ファン

24 時間モデルについて

- 本製品は、長寿命電源や長寿命ディスク、長寿命 CPU ファンを使用しているため、24 時間以上連続してお使いいただけます。

無線 LAN について

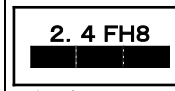
5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- W52：36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
- W53：52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
- W56：100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz)/144(5,720MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。

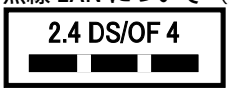
Bluetooth® ワイヤレステクノロジー搭載機種について



- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、ご購入元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

・パソコンと通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し 10m 以内です。ただし、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について（搭載機種のみ）



・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
（1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、ご購入元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
（3） その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し 15m 以内、IEEE802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠、IEEE 802.11ax 準拠では見通し 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
・本製品に内蔵の無線 LAN 搭載機種を 5.2/5.3GHz 帯、および 6GHz 帯の LPI モードでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません（法令で許可された場合を除く）。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
・アドホック通信は対応していません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

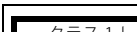
本製品には、"外国為替及び外国貿易法"に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（一般社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/related/ecology/jmoss/

本製品の有線 LAN インターフェースを、直接、電気通信事業者の回線（例：インターネットサービスプロバイダーが提供している通信網サービス等）に接続するためには、電気通信事業法による技術基準適合認定の取得、または電気通信事業者の検査による許可が必要ですので、ご留意ください。



IEC 60825-1:2014
クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

■ 設置／準備

⚠警告



コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

⚠注意

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
・電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
・接続されたケーブルなどを外してください。
・作業は足元に充分注意して行ってください。

本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置はお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

本製品の質量が 18kg 以上の場合、持ち運ぶときは必ず 2 人以上で行ってください。
故障・けがの原因となることがあります（質量については『製品ガイド（機種別編）』をご覧ください）。

■ 使用時

⚠警告

火中に投入、加熱しないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。

通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジーの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子機器のある場所
　特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
・満員電車の中など付近（15cm）に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください。
　光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
　レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

クラス 1 レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

本製品のアウトレットを使用する場合、2A 以上の電流を流さないでください。

故障・火災の原因になります。

アウトレットの開口部から本製品内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

本製品の上に重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10〜15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

指のケガに注意

光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。

火災、故障の原因になります。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

⚠警告

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。
カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を十分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

電源ケーブルや AC アダプタ、ダブルタップはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
故障、感電、火災の原因になります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠注意

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

■ 異常時

⚠警告

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

⚠注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。
特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■ 保管／廃棄

⚠注意

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.5）もあわせてご覧ください。

パソコン本体の取り扱い

故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

- **極端に温度変化が激しい場所でのご使用および保管は避けてください。**
- **電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30 秒以上待ってから電源を入れてください。また、スリープ状態に移行した場合、電源ランプが白色に点滅してから 10 秒以内は、マウスやキーボードを操作したり、電源ボタンを押したりしないでください。**
- **BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOS パスワードを忘れると、パソコンが使えなくなり修理が必要となります。**
- **「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」の項目は、初期設定のままお使いください。**
- **本パソコンを移動する場合は、必ず両手で持ってください。光学ドライブのスロット付近を片手でつかむと、光学ドライブの故障の原因となります。**
- **周辺機器は、弊社純正品をお使いください。**

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本パソコンを保護できないことがあります。
場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用・設置

使用、設置に適さない場所

次のような場所で使用したり設置したりすると、本製品の故障や一部機能が利用できない原因となります。

- **極端に高温または低温になる場所**
- **直射日光のあたる場所**
- **振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所**
- **車、飛行機、船など、輸送機器への設置**
- **湿気やほこり、油煙の多い場所**
  CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- **風呂場、シャワー室などの水のかかる場所**
- **腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所**
- **次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素等の塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近**
  消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱いは、十分ご注意ください。
- **通気性の悪い場所**
- **火気のある場所**
- **台所などの油を使用する場所の近く**
- **テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所**
- **電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所**
- **次の温湿度条件の範囲を超える場所**
  ・動作時：温度 10～35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  ・非動作時：温度-10～60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  ただし、動作時、非動作時とも結露していないこと。
- **結露する場所**
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン本体内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。
  パソコンを移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

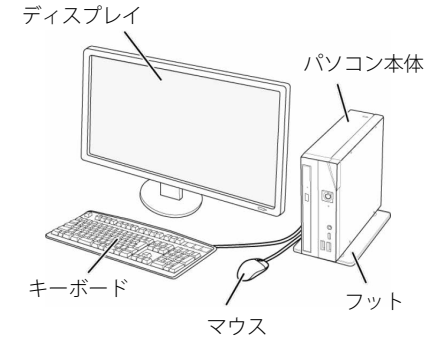
■ 設置例

□ スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル、24 時間モデル

カスタムメイドの VESA キット（以降「VESA キット」と記載）を使用する場合は、「■ VESA キットを使用する場合（スタンダードモデルおよび光学ドライブ搭載モデルのみ）」（→ P.15）をご覧ください。

パソコン本体は、縦置きまたは横置きにすることができます。

● 縦置き

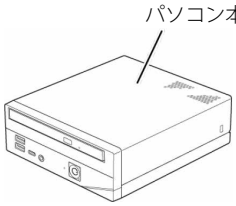


（イラストは機種によって異なります）

● 横置き

添付のゴム足を付けて横置きにします。ゴム足の貼り付け方は「ゴム足を取り付ける」（→ P.14）をご覧ください。

本パソコンの上には、ディスプレイなど物を置かないでください。

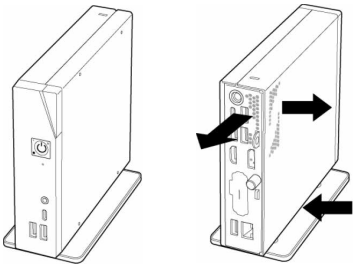


（イラストは機種によって異なります）
（周辺機器、ケーブル類は省略しています）

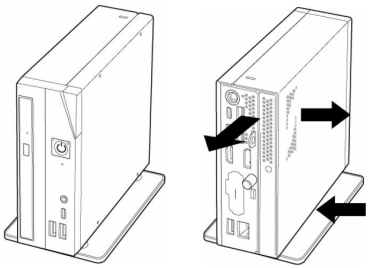
■ 空気の流れ

本パソコンの空気の流れは次の図のとおりです。通風孔をふさがないように注意してください。

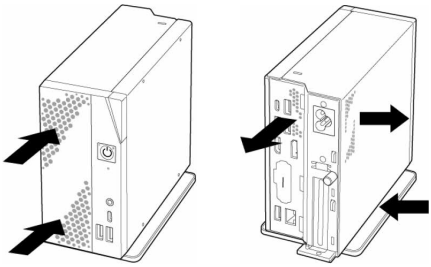
□ スタンダードモデル



□光学ドライブ搭載モデル



□ 24 時間モデル



■ 設置時の注意

無線 LAN 搭載機種の場合は、次の点に注意してください。

● パソコン本体とアクセスポイントの間には、電波の障害になる物を置かないようにしてください。
ラック収納時や、ディスプレイマウントキット、ディスプレイアームをご利用になるときは、特にご注意ください。

パソコン本体から排気した熱が周辺にこもらないように次の点に注意してください。

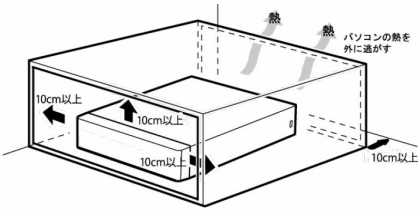
□ スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル、24 時間モデル

● 製品本体から排気した熱が周辺にこもらないように次の点に注意してください。

・製品本体と壁の間に図で示すようなすき間を空けてください。
・製品本体の通風孔をふさがないでください。
・ラック収納時は、製品本体前面および背面をふさがないでください。 ラックに収納する場合は、次の図を参考にしてください（縦置き、横置きとも）。

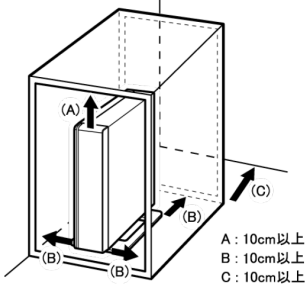
● 本製品の上には、ディスプレイなど物を置かないでください。
● 本製品を移動させるときは、引きずらず、手で持ち上げてください。フットが破損することがあります。

・横置き



パソコン本体前面

・縦置き

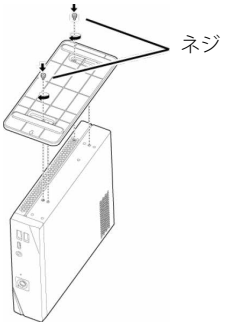


パソコン本体前面

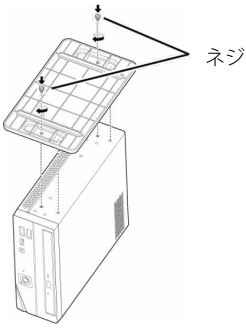
■ フットを取り付ける（縦置きの場合）

縦置きでお使いになる場合、必ずフットを取り付けてください。転倒して故障の原因となることがあります。

□ スタンダードモデル
パソコン本体の底面を上にして置き、ネジでパソコン本体にフットを固定します。



□ 光学ドライブ搭載モデル、24 時間モデル
パソコン本体の底面を上にして置き、ネジでパソコン本体にフットを固定します。



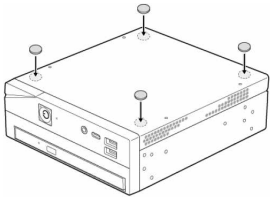
（イラストは機種によって異なります）

■ ゴム足を取り付ける（横置きの場合）

横置きにする場合は、添付のゴム足を貼り付けてください。

ゴム足をパソコン本体の図で示した側面の四隅に貼り付けます。

- パソコン本体側面のほこりなどを拭き取ってからゴム足を貼り付けてください。
- ゴム足を貼り付けた後に、パソコン本体を移動する場合は、ゴム足をひきずらないでください。



（イラストは機種によって異なります）

■ VESA キットを使用する場合（スタンダードモデルおよび光学ドライブ搭載モデルのみ）

● 設置時の注意

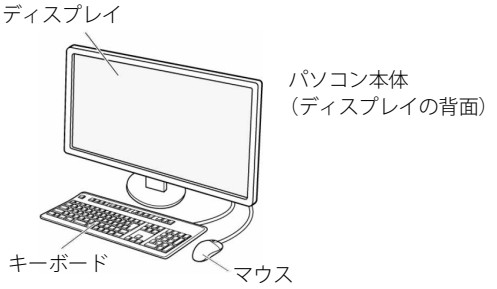
□ 取り付けられるディスプレイ

・VESA キットを使用して取り付けられる液晶ディスプレイは、「カタログ/システム構成図」のページ（https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/catalog_syskou/）の「システム構成図」をご覧ください。

重要

- VESA キットは、弊社製を除く液晶ディスプレイの搭載をサポートしていません。
- ディスプレイ背面の VESA 規格ネジ穴にディスプレイスタンドなどが取り付けられている場合は、VESA キットをご使用になれません。
- VESA キットを使用する場合は、ゴム足を取り付けないでください。

● 設置例



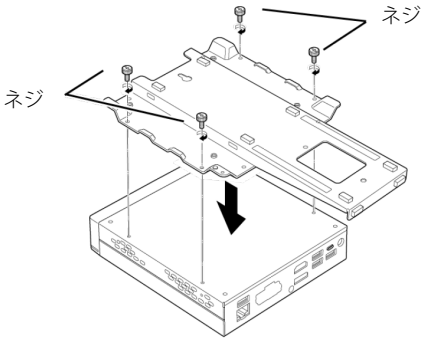
（周辺機器、ケーブル類は一部省略しています）

● VESA キット（L）を取り付ける

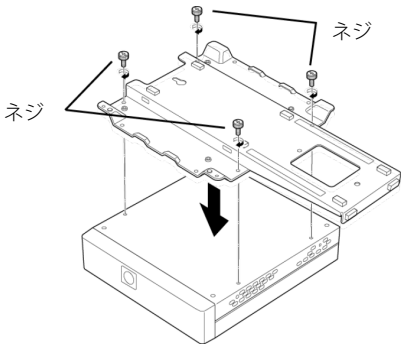
1 次の図をご覧になり、パソコン本体に取り付け金具をネジ（4 箇所）で取り付けます。

スタンダードモデルは、本体前面が上方向または横方向になるように取り付けることができます。
光学ドライブ搭載モデルは、本体前面が横方向になるようにのみ取り付けることができます。

<スタンダードモデル>

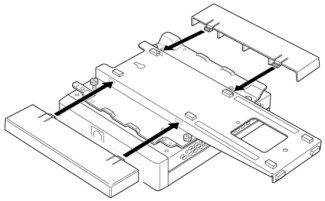


<スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル>



（イラストは機種によって異なります）

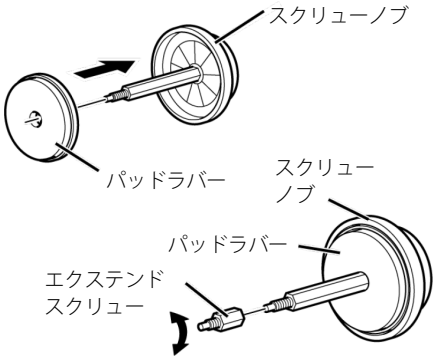
2 右の図をご覧になり、カバーを取り付けます（2 箇所）。



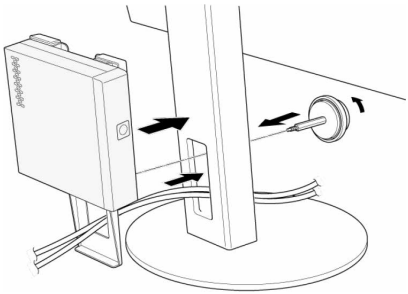
3 右の図をご覧になり、スクリューノブにパッドラバー（すべり止めゴム）を取り付けます。また、ディスプレイのスタンドに合わせて、エクステンドスクリューの取り外し／取り付けをします。

POINT

- 2 色（黒色、白色）のスクリューノブを用意しております。ディスプレイの筐体色に合わせて使い分けることができます。



4 右の図をご覧になり、パソコン本体をディスプレイのスタンドにスクリューノブでネジ止めして取り付けます。

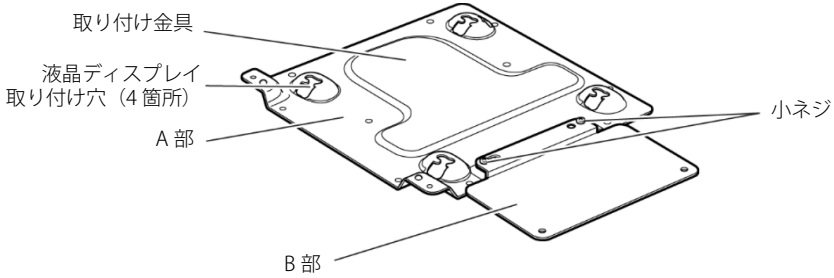


（イラストは機種によって異なります）

● VESA キット（S）を取り付ける

□ 取り付け金具は次のように A 部と B 部から構成されています。

- 17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合は、そのままお使いください。
- 19～21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合は、A 部のみ使用します。小ネジ（2 箇所）を外し、B 部を取り外します。



□ 製品本体に取り付け金具を取り付けます。

1 製品本体の位置と取り付け金具の位置と向きを確認し、次の図のように合わせます。

スタンダードモデルは、本体前面が上方向または横方向になるように取り付けることができます。

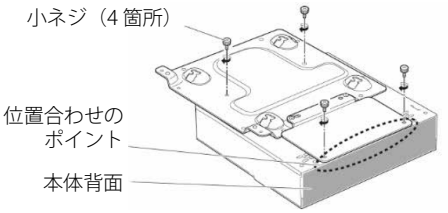
光学ドライブ搭載モデルは、本体前面が横方向になるようにのみ取り付けることができます。

2 取り付け金具を製品本体の端に合わせます（次の図の位置合わせのポイントを参照してください）。

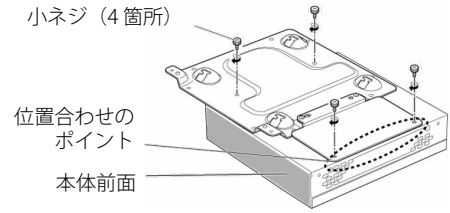
3 製品本体に添付の小ネジ（4 個）を取り付けます。

・ 17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合

<スタンダードモデル>

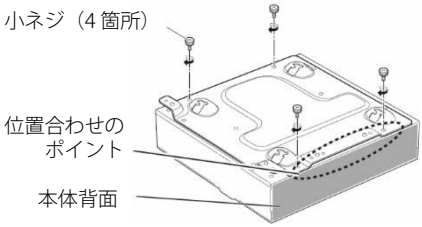


<スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル>

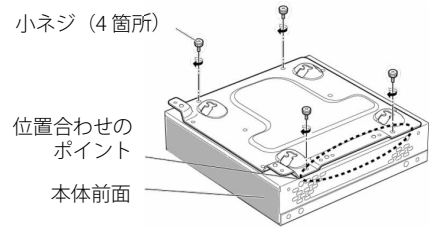


・ 19～21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合

<スタンダードモデル>



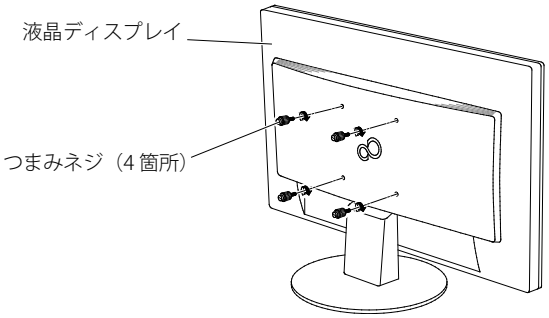
<スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル>



（イラストは機種によって異なります）

□ 液晶ディスプレイにつまみネジを取り付ける

製品に添付のつまみネジ（4 個）を、液晶ディスプレイ背面の VESA 規格ネジ穴に指で取り付けます。



□ 製品本体を液晶ディスプレイに取り付ける

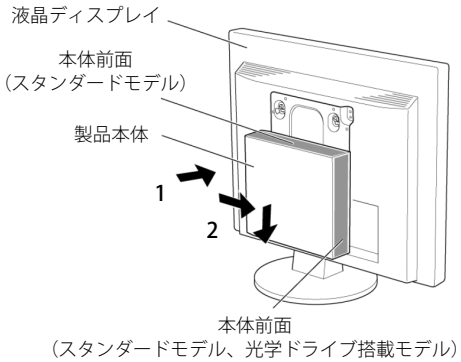
1 次の図をご覧になり、取り付け金具の取り付け穴（4 箇所）をつまみネジに合わせて矢印の方向に取り付けます（上から見た場合も参考にしてください）。

スタンダードモデルは、本体前面が上方向または横方向になるように取り付けることができます。

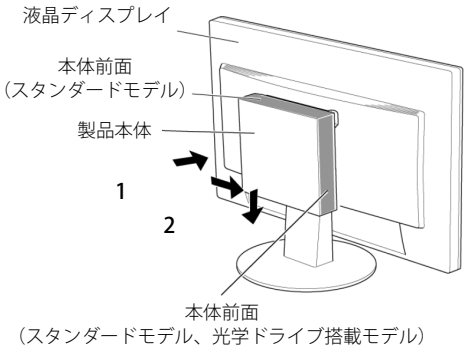
光学ドライブ搭載モデルは、本体前面が横方向になるようにのみ取り付けることができます。

2 右に少しずらした後、下に少しずらすとロックします。

17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合

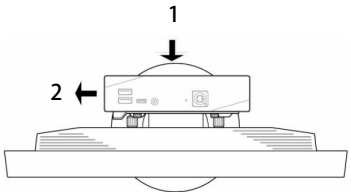


19〜21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合

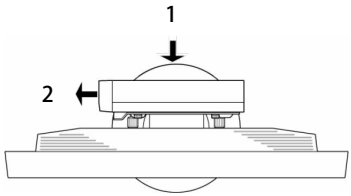


上から見た場合

<スタンダードモデル>



<スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル>



（イラストは機種によって異なります）

重要

- ディスプレイに取り付けた光学ドライブ搭載モデルの光学ドライブをお使いになる場合は、ディスプレイの上下の角度調節（チルト）は、元に戻してお使いください。

接続

ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する

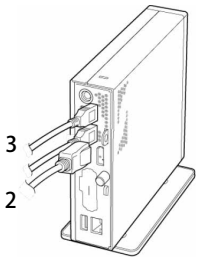
重要
- セットアップが完了するまで、接続するディスプレイは 1 台のみにしてください。
- ディスプレイ 1 台に 1 本のディスプレイケーブルで接続してご利用ください。

□ スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル

1 ディスプレイのマニュアルをご覧になり、ディスプレイに添付のケーブル類をディスプレイに接続します。

2 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。
ケーブルのコネクタと本体背面の刻印を確認し、コネクタの形を互いに合わせて接続します。
・DisplayPort コネクタ
・HDMI 出力端子
・変換ケーブル（カスタムメイドで選択した場合）

3 マウスとキーボードをパソコン本体に接続します。
マウスやキーボードのコネクタと、本体背面の刻印と形を互いに合わせて接続します。
USB マウス、USB キーボードを選択した場合は、本体前面、または本体背面の USB コネクタに接続します。



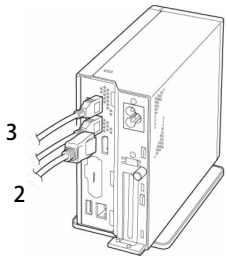
（イラストは機種によって異なります）

□ 24 時間モデル

1 ディスプレイのマニュアルをご覧になり、ディスプレイに添付のケーブル類をディスプレイに接続します。

2 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。
ケーブルのコネクタと本体背面の刻印を確認し、コネクタの形を互いに合わせて接続します。
・DisplayPort コネクタ
・HDMI 出力端子
・変換ケーブル（カスタムメイドで選択した場合）

3 マウスとキーボードをパソコン本体に接続します。
マウスやキーボードのコネクタと、本体背面の刻印と形を互いに合わせて接続します。
USB マウスを選択した場合は、本体前面、または本体背面の USB コネクタに接続します。



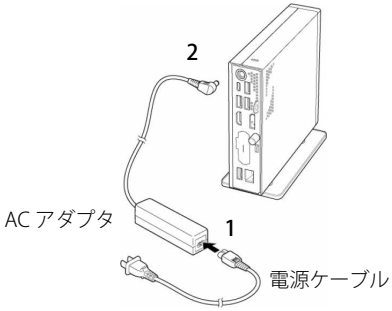
電源ケーブルを接続する

□ スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル

1 AC アダプタ本体に電源ケーブルを接続します。

2 AC アダプタのケーブルを製品本体背面の DC-IN コネクタ（⎓）に接続します。

AC アダプタの重さでケーブルが引っ張られ、コネクタから抜けないように注意してください。

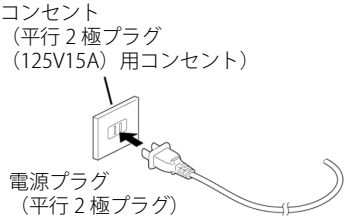


（イラストは機種によって異なります）

3 電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

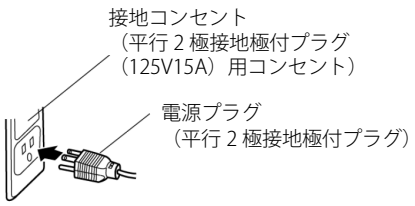
パソコン本体に電源が入り、電源ランプが点灯します。その数秒後、電源が自動的に切れます。

□ AC アダプタ（65W）の場合



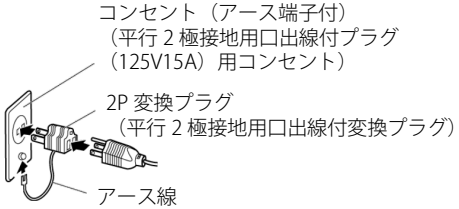
□ AC アダプタ（90W）の場合

● 2P 変換プラグを使わない場合



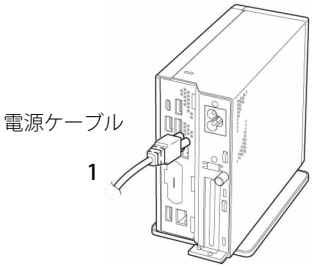
● 2P 変換プラグを使う場合

電源プラグをコンセントに差し込む前に、アース線をコンセントのアース端子へ接続してください。



□ 24 時間モデル

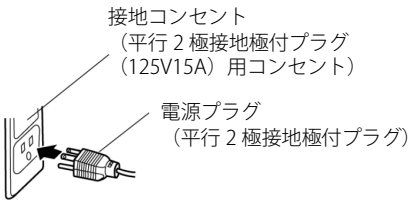
1 電源ケーブル（3 ピン）を製品本体背面のコネクタに接続します。



2 電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

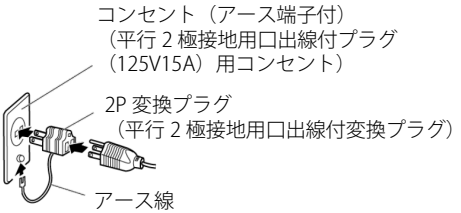
パソコン本体に電源が入り、電源ランプが点灯します。その数秒後、電源が自動的に切れます。

● 2P 変換プラグを使わない場合



● 2P 変換プラグを使う場合

電源プラグをコンセントに差し込む前に、アース線をコンセントのアース端子へ接続してください。



セットアップ

注意事項

- **Windows のセットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。**
  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
  ・周辺機器　・拡張カード　・2 台目のディスプレイ　・BIOS の設定
- **セットアップは無線 LAN や有線 LAN に接続した状態で行ってください。**
- **Windows Autopilot をご利用の場合（Windows 11 Pro の場合）**
  Windows セットアップ時に有線 LAN や無線 LAN でインターネットに接続し、指示に従ってセットアップを進めてください。
- **セットアップ中は、電源を切らないでください。**
- **Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちに、キーを押したりすると、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから操作してください。**
- **Windows のバージョンにより、セットアップ手順（画面）が変更される場合があります。本書と違う画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。**

■ セットアップで困ったときは

□ Windows セットアップが進められなくなった

電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、いったん電源ケーブルを抜いてください。30 秒以上待ってから再度電源ケーブルを接続し、電源を入れてセットアップをやり直してください。

POINT ▸ セットアップ中に、「問題が発生しました　やり直すことができます。」と表示された場合は、「やり直す」をクリックしてください。

セットアップする

セットアップは、インターネットに接続が必要です。事前にインターネットに接続する環境を整えてください。

■電源を入れる

□ スタンダードモデル、光学ドライブ搭載モデル

□ 24 時間モデル

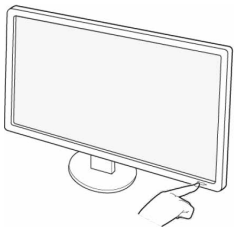
1 ディスプレイの電源ボタンを押します。

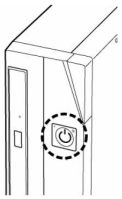
2 パソコン本体前面の電源ボタン（⏻）を押します。

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断（POST）が始まります。

OS によっては、画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗になることや変化がないことがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

起動時にエラーが表示された場合は、『製品ガイド（共通編）』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。





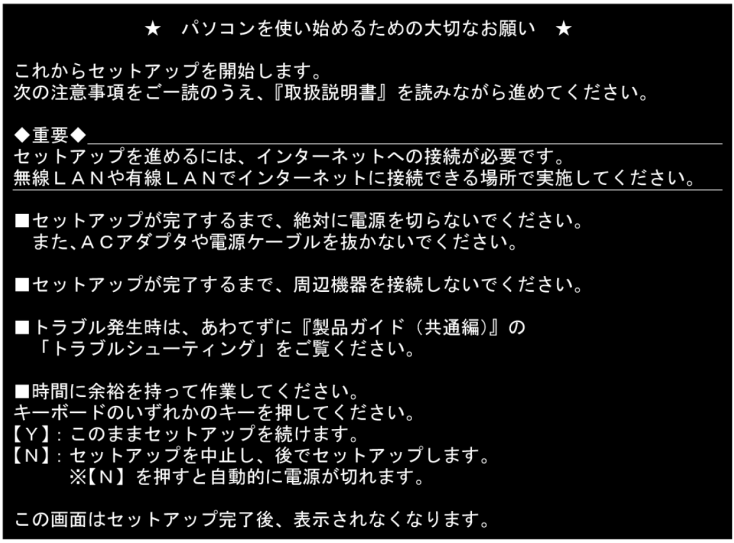
（イラストは機種によって異なります）

重要 ▸ Windows のロック画面が表示される前に、一時的に「入力信号がありません」と表示されることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

自己診断（POST）が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

3 画面に表示された注意事項をよくご覧になり、【Y】キーを押します。（初めて電源を入れた場合のみ）

電源を入れると次のメッセージが表示されます。
セットアップを中止する場合は、【N】キーを押すと電源が切れます。
再度セットアップを開始するときは、手順 1 から操作してください。



この後は、お使いの Windows のセットアップを行ってください。

■ Windows 11

セットアップの説明画面が表示された場合、音声での案内が始まることがあります。必要に応じて画面右下のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整してください。

1 お住まいの地域を確認する画面では、「はい」をクリックします。

POINT ▸ 「国または地域はこれでよろしいですか？」という画面が表示されず、「こんにちは」や「PC が再起動したのはなぜですか？」の画面が表示された場合は、「次へ」をクリックして先に進めてください。

2 キーボードレイアウトを確認する画面では、「はい」をクリックします。

3 2 つ目のキーボードレイアウトを追加する画面では、「スキップ」をクリックします。

4 ネットワークに接続する画面が表示された場合は、ネットワークに接続して、「次へ」をクリックします。

・自動接続にはチェックを入れたままにしてください。

5「更新プログラムをチェックしています」画面が表示された場合は、しばらく待ちます。

・ネットワークが不安定な場合、以降の手順と異なる画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

6 ライセンス契約の画面では、内容をよく読み、「同意」をクリックします。

7「デバイスに名前を付けましょう」画面では、名前を入力し、「次へ」をクリックします。その後は自動的に再起動します。

・再起動の後、ネットワークに接続する画面が表示された場合は、ネットワークに接続して、「次へ」をクリックします。

8「このデバイスをどのように設定しますか？」画面が表示された場合は、「個人用に設定」を選択して「次へ」をクリックします。

POINT ▸ 「個人用に設定」は Microsoft アカウントを使用する設定です。「職場または学校用に設定する」を選択する場合は、画面の指示に従ってください。

9「Microsoft エクスペリエンスのロックを解除する」画面が表示された場合は、「サインイン」をクリックします。

10「Microsoft アカウントを追加しましょう」画面では、次のように操作します。

□すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合

1. アカウントを入力して、「次」をクリックします。
2. パスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

□新規に Microsoft アカウントを作成する場合

1. 「アカウントがありませんか？作成しましょう！」の「作成しましょう」をクリックします。
2. 「アカウントの作成」画面で、「新しいメールアドレスの取得」をクリックします。
3. Microsoft アカウントとして使いたい文字列を入力し、「次へ」をクリックします。
   ・メールアドレス入力後、「既に使用されています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力してください。
4. 「パスワードの作成」が表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
5. 「お名前の入力」画面では、姓と名を入力して、「次へ」をクリックします。
6. 「生年月日の指定」画面では、生年月日を設定して、「次へ」をクリックします。
7. 「セキュリティ情報の追加」画面では、メールアドレスまたは携帯電話番号（スマートフォン含む）を入力して、「次へ」をクリックします。
   ・本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できる情報を入力してください。

11 顔認証または指紋認証を使用する画面が表示された場合は、「今はスキップ」をクリックします。

12「PIN を作成します」画面では、「PIN の作成」をクリックします。

13「PIN のセットアップ」画面では、新しい PIN と、PIN の確認を入力し、「OK」をクリックします。

14「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、「次へ」をクリックし、内容をよく読み、「同意」をクリックします。

15「PC のセットアップ方法を選択します」画面では、「新しい PC としてセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックします。

16「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

・すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合は、この画面は表示されません。

17「PC からスマートフォンを使用する」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

18「OneDrive でスマートフォンの写真を安全に保管する」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

19「Microsoft 推奨ブラウザーですべての閲覧データにアクセス」画面では、「今はしない」をクリックします。

20「PC Game Pass を初月￥850 で利用できます」画面が表示された場合は、「今はしない」をクリックします。

Windows のセットアップが完了すると、Windows 11 のデスクトップが表示されます。

POINT ▸ ライセンス認証手順

・インターネットに接続すると自動的にライセンス認証が完了します。ライセンス認証のための操作は不要です。

・インターネットに接続できない場合は、「スタート」ボタン→「設定」から、「システム」をクリックし「ライセンス認証」から「電話でのライセンス認証」を選択いただくか、「スタート」ボタン→画面右上の「すべてのアプリ」→「Windows ツール」→「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe 4」と入力し、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。

セットアップ後

■ ご使用になる前の設定

これ以降の設定には、インターネットの接続が必要になるものがあります。
インターネット上のマニュアルなどをご覧になって操作や設定を行い、本パソコンをお使いください。

□ Windows Update
インターネットに接続し、Windows を最新の状態に更新します。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

□ アップデートナビを有効にする
アップデートナビを有効にするために、一度アプリを起動し、自動更新通知・常駐設定で「自動更新通知をする」を選択してください。その後、ドライバーやアプリが更新されると、通知が表示されます。

□ セキュリティ対策を行う
ウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新の状態に更新します。

□ ディスクの作成 →『リカバリガイド』
内蔵ストレージに格納されているデータから、リカバリに必要なディスクを作成します。ご購入後、お手元にディスクがない場合は、できるだけ早い時期にディスクを作成してください。

□ OneDrive の設定（Windows 11 の場合）
Microsoft アカウントでセットアップした場合は、OneDrive を使用する設定となっています。OneDrive の設定はセットアップ後に変更することができます。

□ Office 製品のインストール →『製品ガイド（共通編）』
インターネットに接続し、インストールします。

□ 無線 LAN→ 機能別マニュアル

ご使用にあたって、次のマニュアルの該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

□ BIOS パスワード→『製品ガイド（共通編）』

□ お手入れ→『製品ガイド（機種別編）』

■ BIOS やドライバーのアップデート

本製品をより快適にご利用いただくために、常に最新の BIOS やドライバーへアップデートをお願いします。

□ BIOS やドライバーのアップデートについて →『製品ガイド（共通編）』

■ デバイスの暗号化または BitLocker ドライブ暗号化の回復キーを保管する

一部のパソコンでは、次のときに Windows 11 に搭載されている「デバイスの暗号化」の機能が自動的に有効になり、内蔵ストレージが暗号化されることがあります。

- **Microsoft アカウントでパソコンにサインインしている場合**
- **組織アカウント（「職場または学校アカウント」）または Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントでパソコンにサインインしている場合**

また「BitLocker ドライブ暗号化」を有効にすると内蔵ストレージが暗号化されます。
暗号化が有効になった状態でパソコンにトラブルが発生すると、次のような場合に回復キーを求められることがあります。

- **「この PC を初期状態に戻す（リカバリ）」でストレージを初期状態に戻す場合**
- **修理から戻ってきたパソコンの電源を入れた場合**

回復キーを求められたときは、事前に保管しておいた回復キーの入力を行わないと、先に進むことができなくなります。このような場合に備え、事前に回復キーを保管しておくことをお勧めします。

□ デバイス暗号化が有効になっているか確認する

1「スタート」ボタン→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。

2「デバイスの暗号化」の項目が表示されているか確認します。

●「デバイスの暗号化」の項目が表示されている場合

「デバイスの暗号化」をクリックします。

- 「デバイスの暗号化」がオンの場合は、この後の「回復キーを保管する」の手順に進んでください。
- 「デバイスの暗号化」がオフの場合は、この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

●「デバイスの暗号化」の項目が表示されていない場合

お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」に対応していません。この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

POINT ▸ 暗号化設定が BitLocker で管理されている場合は、次の「BitLocker ドライブ暗号化が有効になっているか確認する」をご覧ください。

□ BitLocker ドライブ暗号化が有効になっているか確認する

1「スタート」ボタン→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「システムとセキュリティ」→「BitLocker ドライブ暗号化」の順にクリックします。

- 「BitLocker を無効にする」と表示されている場合、BitLocker ドライブ暗号化は有効になっています。この後の「回復キーを保管する」の手順に進んでください。
- 「BitLocker を有効にする」と表示されている場合、BitLocker ドライブ暗号化は無効になっています。この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

□ 回復キーを保管する

1 次の操作を行います。

「スタート」ボタン→画面右上の「すべてのアプリ」→「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

2「システムとセキュリティ」→「BitLocker ドライブ暗号化」または「デバイスの暗号化」の順にクリックします。

「BitLocker ドライブ暗号化」または「デバイスの暗号化」が表示されます。

3「回復キーのバックアップ」をクリックします。

重要 ▸ このとき「BitLocker を有効にする」が表示されている場合は「回復キー」が保存されていません。Microsoft アカウント、組織アカウントまたは Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントでサインインしたときや、ご自身で「BitLocker を有効にする」をクリックされた際に、「回復キーのバックアップ」を実行してください。

4 表示されたメニューから「Microsoft アカウントに保存する」、「ファイルに保存する」または「回復キーを印刷する」を選択し、保管します。

POINT

- 事前に「回復キー」を保管していない場合は、マイクロソフト社のホームページで確認することができます。次の URL にサインインしてください。
  - Microsoft アカウントを利用している場合
    https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=237614
  - Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントを利用している場合
    https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=857635

重要

- 本製品の修理や、ハードウェアの変更を行う場合は、次の点にご注意ください。
  - デバイスの暗号化が有効になっている場合、デバイスの暗号化を必ず無効にしてください。
  - BitLocker ドライブ暗号化をご利用の場合、BitLocker ドライブ暗号化を必ず無効にするか、一時的に「保護の中断」に設定してください。

■ トラブル発生時の対処

トラブルの発生時に備えて、事前に『リカバリガイド』と、次の『製品ガイド（共通編）』の該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

- **「トラブルシューティング」－「トラブル発生時の基本操作」－「診断プログラムを使用する」**
  Windows が起動しなくなった場合、診断プログラムを使用し、障害箇所を診断できます。
- **「トラブルシューティング」－「よくあるトラブルと解決方法」－「起動・終了時のトラブル」**
  起動時にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が鳴ったりした場合の対処方法が記載されています。

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。
お問い合わせの前に、パソコン本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）をご確認ください。

技術的な ご質問・ご相談	**ご購入元（販売会社、または弊社の担当営業・SE）にご相談ください。** 個人のお客様など、ご相談先がご不明の場合は、次の窓口へお問い合わせください。 なお、主に個人のお客様向けサービスとなりますので、サーバーや業務システム連携のご質問、トラブルシューティングのご相談につきましては、対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。 FMV チャットサポート（運営：富士通クライアントコンピューティング株式会社） https://azby.fmworld.net/support/contact/chat/
ハードウェアの 故障・修理[注]	**富士通ハードウェア修理相談センター** **（運営：富士通株式会社およびエフサステクノロジーズ株式会社）** **https://eservice.fujitsu.com/webrepair/** 「修理ご相談チャット」で 24 時間いつでも、故障診断、修理費用のご案内から、修理のお申し込みまでできます。 **なお、保証期間中の故障・修理のご相談は、保証書に記載されている窓口をご利用いただけます。**
サプライ品の ご購入	「お問い合わせ」(https://www.fmworld.net/biz/fmv/contact/)から 「その他のお問い合わせ」の「サプライ商品」をご覧ください。

注：G シリーズの VESA キットの故障・修理については、ご購入元にご相談ください。

CyberLink、PowerDVD、Power2Go は、CyberLink Corporation の商標または登録商標です。
Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。富士通株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2024

ESPRIMO
取扱説明書
B5FL-1571-01-02
発 行 日：2024 年 8 月
発行責任：富士通株式会社
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。